

令和4年度 第1回 出雲市介護保険運営協議会（書面会議）での意見

番号	資料 番号	意見項目	回 答
1	2	<p>(指標番号7、「通いの場」等への参加者)</p> <p>「通いの場」はたくさんあるが、参加者が少ないのは何故か。</p>	<p>指標番号7は、令和3年度に月1回以上開催された「高齢者ふれあいサロン」及び「通いの場」の参加者数(それぞれ1,216人、1,502人、計2,718人)の、全高齢者数(52,434人)に占める割合(5.2%)に基づき評価したものです。</p> <p>このうち「通いの場」は、コロナ禍前の令和元年度から4団体増の94団体、参加者も84人増の1,502人となっており、感染防止に関する情報提供や伴走型の立ち上げ支援により、コロナ禍にあっても活動が再開され、新たな団体も立ち上がっている状況です。</p> <p>「通いの場」の参加者数については、身近な場所で身近な方々で行う活動のため、1団体の平均参加者は16人程度であり、団体数の割に少ないと感じられるかもしれません。</p> <p>市では、つながりを大切にした継続的な活動となるよう、このような小単位の団体を数多く立ち上げることが重要と考え、令和4年度には既存の地域のサークル等にも「通いの場」としての登録を勧めています。また、令和3年度に作成した「通いの場紹介ブック」を更新し、新たな参加者を迎えることができる団体の紹介にも取り組んでいます。</p>
		<p>(指標番号21, 23、介護人材の確保・定着)</p> <p>高校生に介護福祉系の大学への進学を働きかけてはどうか。</p>	<p>介護人材の確保・定着に向けた取組については本協議会にも実施状況を報告しながら進めているところです。中学生や高校生へのアプローチについては、「介護のしごと」を理解するきっかけ作りが重要と考えており、中学生については、市内の介護事業所の職員を講師に、介護の基礎を学ぶ講座を開催してい</p>

			<p>ます。高校生については基礎的講座の開催は行っていませんが、市が企画する介護職場見学会への参加の働きかけを行い、その取組の中で介護福祉系大学で学べる内容や資格取得に関する情報提供なども行っていきたいと考えています。</p>
		<p>(指標番号30、業務継続計画策定)</p> <p>コロナを恐れるばかりでなく、積極的に対応策を講じるよう、指導して欲しい。</p>	<p>感染症や災害が発生した場合であっても必要な介護サービスが継続的に提供できる体制を構築する観点から、全ての介護サービス事業者を対象に、業務継続のための計画の作成等が義務付けられています。3年の経過措置期間が設けられ、令和6年4月以降に義務化されます。市としましても、今後、策定状況を把握するとともに、策定に向けた支援等も行っていきたいと考えています。</p>
		<p>(指標番号31、災害・感染症対策研修会)</p> <p>近年は災害も多い。感染症対策とともに研修会を実施し、事業所には参加を促して欲しい。</p>	<p>昨年度は、市内高齢者施設での新型コロナのクラスター発生などもあり、感染症対策研修会は開催しましたが、災害対策研修は開催できませんでした。なお、実地指導の際に各事業所が独自で実施している避難訓練の状況等について確認を行いました。</p> <p>今年度は感染症対策と災害対策等の研修会の開催を予定しており、各事業所に参加を働きかけていく予定です。</p>
2	8	<p>(介護人材確保について)</p> <p>高齢者施設等で感染が広がり職員が休まざるを得ない状況下、一定の職員へ過度な負担がかかっている。</p> <p>平素からの相互の人的交流に加えて、有事の際の相互支援の仕組みづくりや人材確保に向けた効果的な取組が急がれると感じる。</p>	<p>高齢者施設等で新型コロナの感染が広がった際の対応として、施設間で職員を派遣できる「介護職員等派遣制度」(県所管)が運用されています。</p> <p>また、ご指摘のとおり、有事の際の相互協力を円滑に進めるためにも、平時からの交流は重要と考えています。</p> <p>市としても、他施設見学会や若手職員交流事業を今後も実施し、交流促進を図っていく考えです。</p>

3	8	<p>(介護人材確保について)</p> <p>施設をはじめとして業界の喫緊の課題となるため、活発な取組を願う。</p>	<p>介護人材の確保・定着については、重要課題と認識しており、引き続き「介護人材確保・定着事業」を進めていきます。</p> <p>また、今年度実施するアンケートにおいて、介護ロボットや外国人材雇用に関する内容を調査する予定としており、従事者の負担軽減と新たな人材確保策に関する取組も検討していきたいと考えています。</p> <p>このほか、「在宅医療介護連携推進団体補助金」(市の補助事業、公募型)を活用し、今年度、「ICTを活用した業務の効率化」をテーマに2団体が研究事業に取り組みます。介護現場の業務効率化につながることを期待しています。</p>
4	8	<p>(介護人材確保について)</p> <p>有料紹介業者を仲介しての応募・確保が伸びている。登録者を確保するためのPRが巧みである。ここに学ぶべきものがあると考えます。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>
	その他	<p>(施設整備について)</p> <p>今後入所系施設の新規募集や改修補助を検討する場合、建築資材の高騰にも留意した計画が必要である。</p>	<p>ご指摘のとおり、施設整備における建築資材価格の高騰については留意する必要があります。今後、新たな施設整備計画や建て替え等の需要に対する補助を検討する際は、十分に留意したいと考えています。</p>